

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		東京書籍
総 評		<p>3つのテーマ①主体的に考え、対話を通して深い学びへ導く ②いじめに気づく、いじめを許さない ③人間関係を築く を掲げ、道徳的価値についての理解を深める工夫がなされている。中心発問および振り返りの発問が、すべての読み物教材に明示されており自己の生き方についての考えを深める工夫がされている。</p> <p>挿絵や写真に教材の内容とイメージがずれているものがあるように感じた。そのため、児童の教材理解の深化が進みにくくなるのではないかと危惧する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 人生や生活に生きて働く道徳性を育成するために、2年生から6年生において学習の手順を4ステップ（1気づく 2考え話し合う 3ふりかえる、見つめる 4生かす）で示し、道徳教育・道徳科における資質・能力の育成に向けた学習を進めていくことができるよう工夫されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 授業の流れや、児童の思考の過程が重視され、多様な指導方法に適した対応がされている。③
	3 外的要素	○ ユニバーサル デザインに対応し、文字は太めの教科書体、囲みやイラスト、配色等配慮がなされている。言葉のまとまりをとらえやすくするために、改行の位置にも工夫が見られる。AB版で、行間が広く読みやすい工夫がされている。④
	4 構成・配列	○ 年度当初のオリエンテーションページと、まとまりごとに自分を見つめる「学習の振り返り」ページがあり、見通しを持った学習で主体的な学びを実現できる工夫がされている。②
	5 資料・その他	○ 「学習の振り返り」では、「夏休み」「冬休み」「春休み」の前に大きくくりの振り返りができるようになっている。また、道徳教育全体にも対応できる「なりたい自分」「学年の終わりに1年間をまとめて見つめ直すコーナー」がある。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮されている教材が少ないと感じた。②
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返って成長を実感することができるような記述にもう少し工夫が必要だと感じた。⑤
	3 外的要素	○ 挿絵に、教材内容から児童がイメージしにくい少々難解なものがあるように感じた。③
	4 構成・配列	○ 学んだことでこれからの思いや課題について考えることができる工夫をもう少し深める必要を感じる。②
	5 資料・その他	○ 児童の発達の段階や特性等を踏まえた資料作りにもう少し配慮が必要だと感じた。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		学校図書
総 評		<p>問題解決的な学習、体験的な学習など、多様な学習形態を取り入れている。様々な学習活動を通して、児童が自ら考え、対話を通して考えを深めることができるよう工夫されている。特設ページとして道徳的価値について迫る焦点化した発問も掲載している。</p> <p>教科書が「きづき」「まなび」に分かれているが、低学年では毎回授業で2冊の教科書を忘れずに持参することは難しいと感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 多様な人々への理解を深め、共生・共助の精神を育む教材が掲載され、相手の立場に立って互いに尊重し合う心と態度を養う教材が取りあげられている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返り、見つめ直す発問「みつめよう」を通して、道徳的価値に迫り、今後に生かす態度を養うことができる⑤ ○ 問題解決的な学習、体験的な学習など、様々な学習活動を通して、児童が自ら考え、対話を通して考えを深められるように工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインの観点から 全ページ、配色とデザインに十分な配慮がされている。文字の配置が統一されていて分かりやすい。④
	4 構成・配列	○ 自らを振り返り、見つめ直す発問「みつめよう」を通して、道徳的価値に迫り、今後に生かす態度を養うことができる。②
	5 資料・その他	○ 全学年「読みもの」「活動」には「コラム」が掲載され、各内容項目の指導の一助となっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が、人間としての在り方や生き方について考えを深められるような教材の内容に、もう少し児童の発達段階等を考慮すればよくなると思われるものがあった。⑦
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤等の心の揺れを児童が深く考えることができるような教材にもう少し深みが必要だと感じた。②
	3 外的要素	○ 低学年では、教科書を「まなび」「きづき」の2冊に分けるのではなく、1冊にまとめたほうがよいのではないかと感じた。①
	4 構成・配列	○ 内容項目の全体の効果的な指導が行えるよう、年間にわたり適切に構成・配列されているが、6年間を見通しての構成・配列については、もう少し工夫が必要だと感じた。①
	5 資料・その他	○ 児童が興味を持って前向きに取り組めるような資料づくりをするための工夫が必要だと感じた。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		教育出版
総 評		<p>道徳的価値の理解を深めるための工夫として、冒頭で学習のねらいを提示して問題解決的な学習を展開できるようにしている。内容項目ごとに導入時の投げかけを設け、学習のねらいを明確に把握させることで問題解決的な学習を展開できるように工夫されている。</p> <p>教材ごとに字の大きさが異なっている。左ページから教材が始まることが多く、支援を要する児童に対する配慮に課題があると感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 全学年にわたって、「やってみよう」モラルスキルトレーニングのページが配置されており、考え、議論する場の提供がされている。③
	2 内容の取扱い	○ 内容項目ごとに導入時の投げかけを設け、学習のねらいを明確に把握させることで問題解決的な学習を展開できるようにしている。⑥
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインによる紙面構成がされ、全ての児童が学びやすい工夫がなされている。(レイアウト、配色、デザイン、マーク等)④
	4 構成・配列	○ 各学年、発達段階を踏まえ、4つの視点がバランスよく学べるように教材が配列されている。①
	5 資料・その他	○ 実践例豊富な教材が多数掲載され、さらに 標準時数に加えた 補充教材も掲載されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 豊かな心や創造性の涵養を目指した教材にもう少し深みを持たせた方がよいと思った。⑤
	2 内容の取扱い	○ 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められる教材にもう少し工夫が必要だと感じた。①
	3 外的要素	○ 教材ごとに字の大きさが異なり、量が多く読み取りに時間がかかってしまう教材がある。② ○ 左ページ始まりの教材が多く、支援の必要な児童にとって集中しにくい要素があると感じた。④
	4 構成・配列	○ 学んだことに対して、これからの課題について考える児童へのアプローチに、もう少し工夫が必要だと感じた。②
	5 資料・その他	○ 資料は児童が興味を持てるよう児童の視点に立って工夫されているが、もう少し児童の発達段階に添ったものの方がよかったのではないかと感じた。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		光村図書出版
総 評		<p>問題意識をもち多様に考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材など、教材の特質が明瞭であり、道徳性を構成する諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養うための教材をバランスよく掲載している。</p> <p>「学びの記録」の内容項目が大まかな記述なので、教師の意図する内容項目から児童の学びが外れてしまう可能性があると感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的に考え、話し合うことが道徳の授業であることを児童に示す「道徳の時間は」を設け、他にも漫画形式の教材、一枚絵から考える教材、複数の資料と併せて考えられる教材を配しており、考える道徳・議論する道徳の具現化に効果的な役割をしている。③
	2 内容の取扱い	○ 発達段階に即し、ねらいを達成する上で、内容や分量、世界の広がりが見られる。また学年ごとに重点項目を変え、確かな学習体験となるよう配慮されている。③
	3 外的要素	○ 文字の大きさや配置、写真や挿絵の色遣いや配置の他、枠組みを使ったデザイン処理などユニバーサルデザインの観点から見ても十分な配慮がなされている。④
	4 構成・配列	○ 「学習のまとめり」ごとに、自分や他者の考えや行動を振り返り、変化や成長を記録できる「学びの記録」が位置付けられており、道徳性を育成するための工夫が見られる。②
	5 資料・その他	○ 「学びの記録」の位置付けにより、児童が自己評価できるようになっていたり、教材と関連した本（話）を紹介していたりして、学習意欲を喚起する工夫が見られる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮されている教材が少ないと感じた。②
	2 内容の取扱い	○ 一部の教材に、児童の「ふりかえり」を深めるためにもう少し工夫した方がよいと思われるものがあった。⑤
	3 外的要素	○ さし絵や写真など、児童の教材理解を助けるように随所に配されているが、もう少し絞って掲示してもよいのではないかと思った。③
	4 構成・配列	○ 「学びの記録」において内容項目の焦点化がされにくい内容なので、教材にそった学びができたか、振り返った時に分かりにくいと感じた。②
	5 資料・その他	○ 資料は、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように工夫されているが、もう少し簡潔に提示してもよいのではないかと思った。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		日本文教出版
総 評		<p>道徳的価値に関するすべての内容項目を扱いつつ、重点とすべき内容項目については複数の教材を取りあげている。道徳教育における現代的な課題を重視し、生命の尊重、自他の敬愛、郷土愛、国際理解などに関わる教材を重点的に取りあげている</p> <p>教材内容に現代の児童に合っていないものがあり、児童が自分のこととしてとらえにくいのではないかと感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「学習の手引き」が設定された教材では、考え、議論する道徳の進め方を明示している。③
	2 内容の取扱い	○ 各教材末に自己を振り返る発問「考えてみよう」が設けられ、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。⑤
	3 外的要素	○ 漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字やキーワード・固有名詞等の漢字にはすべてにふりがなをつけ、読みの抵抗を少なくするよう配慮している。④
	4 構成・配列	○ 児童の発達段階を考慮した内容であり、1年間、及び6年間を通した系統性を配慮しているとともに、「保・幼、小」の連携、中学校段階との接続にも配慮している。①
	5 資料・その他	○ 標準教材に加え、付録としての補助教材を取り入れ、ものの見方や考え方が深められるように工夫している。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教材にもう少し工夫があれば、児童の学びの深化がより進むと感じた。③
	2 内容の取扱い	○ 一部の教材に、児童が振り返って成長を実感する過程にもう少し工夫が必要なものがあると感じた。⑤
	3 外的要素	○ 本の大きさが横に長く、机上が本でいっぱいになるので、児童が授業に集中できるのか不安である。① ○ 挿絵が現代的なので教材内容の時代とマッチせず違和感を感じるものもあった。③
	4 構成・配列	○ 頭注欄を活用していたが、当該学年の児童には、やや難解な語句があり児童にとって取り組みにくいのではないかと感じた。④
	5 資料・その他	○ 資料等、別冊に表記されているので、低学年児童には少し活用しづらいのではないかと感じた。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		光文書院
総 評		<p>児童にとって身近に感じられる話題になっており、問題意識を持ち、主体的に考えられるように工夫されている。児童が自己を見つめ物事を多面的・多角的にとらえ、道徳の授業の見通しがイメージしやすい構成になるように工夫されている。</p> <p>大阪に関する内容が少なく、郷土愛の点に課題がある。5年の教材で自分の写真を貼るものがあるが、個人情報の点から少し不安な要素がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各教材の冒頭に主題と導入時の問いを提示し、1時間の授業の流れを明確にしている。展開時には、主題に迫る問いや大切な見方を示し、「まとめる・広げる」では授業後の広がりまで視野に入れている。④
	2 内容の取扱い	○ 日本・世界の偉人やオリンピック選手などの功労者を取り上げ、生き方に触れる時間を通し、自らの考え方や生き方を振り返り、目標を見つけることができるような工夫がある。⑤
	3 外的要素	○ 2年生までは分かち書きであり、3年生までは、全ての漢字にふりがなを付している。④
	4 構成・配列	○ 「生命の尊重」を6年間通した重点主題とし、「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」を取り入れている。①
	5 資料・その他	○ 「ことばのたからもの」というページを設け、児童に触れて欲しい世界の偉人や歴史上の人物の名言が発達段階を考慮して紹介されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 一部の教材に、児童の主体的・対話的で深い学びをより深化させるには、もう少し工夫が必要なものがあると感じた。③
	2 内容の取扱い	○ 道徳的行為に関する体験的な学習等に関する教材がやや少ないと感じた。⑥
	3 外的要素	○ A4版で教科書が大きいので低学年にはとても見やすいが、高学年にとっては挿絵が多すぎて、児童の発達段階に合っていないと感じた。②
	4 構成・配列	○ 学んだ教材をさらに深く心にとどめるための工夫がされているが、一部、児童の発達段階に適していないのではないかと思われるものがあった。②
	5 資料・その他	○ 資料は学習内容に応じて正確・適切に用意されているが、少し量が多いのではないかと感じた。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		学研教育みらい
総 評		<p>教材の始めに主題名を示さないことで、特定の価値観を押しつけることなく、児童の問題意識から課題を見つけ、解決する過程を通して価値に迫ろうとする工夫がされている。教材によって吹き出しや空欄があり、自分の考えを書くことができる工夫がされている。</p> <p>読みものの終わりの「つなげよう」「広げよう」「深めよう」が題材とうまくつなげることが難しいと感じた箇所があった。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」で、発達段階を考慮しながら、考えたり話し合ったりする学習の流れが示されている。④
	2 内容の取扱い	○ 教材によって学び方のページ（「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」）を設定し、発展的な活動やその教材に関する資料を載せている。特に、「やってみよう」では学習したことを実践する体験的な学習活動を取り入れている。⑥
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインに配慮した文字やカラーにしている。④
	4 構成・配列	○ 最重要テーマを受け、1・2年生は「しっかり生きる」、3・4年生は「仲よく生きる」、5・6年生は「よりよく生きる」を重点テーマとして設定し、それに関わる2教材を連続して配置している。①
	5 資料・その他	○ A4判にし、挿絵や写真を大きく豊富に載せられるようにしている。また、巻頭は見開き一面、いのちの教育に関わる教材の始めには一面の写真が詩とともに載っている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現に配慮されている教材が、少ないと感じた。①
	2 内容の取扱い	○ 児童の考えの深まりが進むように教材内容が工夫されているが、一部の教材に課題意識を深める観点に工夫が必要だと思われるものがあった。⑤
	3 外的要素	○ 教科書が大判なため、低学年児童には持ち運び時に負担があるのではないかと危惧される。①
	4 構成・配列	○ 学んだことについて、児童にこれからの課題をより深く考えさせる工夫が、もう少し必要だと感じた。②
	5 資料・その他	○ 資料等は、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように様々な形式で掲示されているが、資料等が目立ちすぎて教材内容の深化が少し進みづらくなるのではないかと感じた。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

道 徳		廣濟堂あかつき
総 評		<p>「道徳ノート」では、巻頭で自分のことを記載したり、問いが価値に応じた自己への問いになっていたりと、自己を見つめ自己の生き方について考えを深めるように工夫されている。全学年に教材ごとに、「考えよう、話し合おう」を設置して学習の道筋を示し児童の主体的、対話的で深い学びを促し、学習を広げる工夫をしている。</p> <p>学年によって字が小さかったりページが上下に分かれていたりするなど読みにくい部分があると感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 全学年に教材ごとに、「考えよう、話し合おう」を設置して学習の道筋を示し児童の主体的、対話的で深い学びを促し、学習を広げる工夫をしている。③
	2 内容の取扱い	○ 各教材に「考えよう、話し合おう」を設け、「問題解決的な学習」と「自己を振り返り将来に生かす学習」の発問で、児童が思考を深められるような工夫をしている。①
	3 外的要素	○ 低学年の教材は、動物を登場人物とした物語教材を多くとりあげ、挿絵を積極的に掲載することで、視覚的に内容理解を促している。③
	4 構成・配列	○ 「道徳ノート」では、授業で感じたことや考えたことを記述する欄があり、振り返ることで、児童が自分の成長を感じたり次の課題や目標を見つけたり意識したりすることができるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 「学習を広げる」では、教材に出てきた人物の紹介や関連した本が適切に紹介されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上に配慮されている教材が、やや少ないと感じた。②
	2 内容の取扱い	○ 身近な社会的課題を題材とする教材が、やや少ないと感じた。④
	3 外的要素	○ 低学年では、教科書・「道徳ノート」の2冊に分けるのではなく、1冊にまとめたほうがよいのではないかと感じた。①
	4 構成・配列	○ 読みものの終わりの「学習の道すじ」では、児童に考えさせる項目が多いように感じた。②
	5 資料・その他	○ 「道徳ノート」が一つの教材につき1ページではなく、同じ内容項目で2ページになっているのが児童には使いにくいのではないかと感じた。②